

平成29年4月13日（木）

第165回郵政民営化委員会後 委員長記者会見録

（11：40～12：14 於：永田町合同庁舎3階 郵政民営化委員会室）

（会見概要は以下のとおり）

○岩田委員長

郵政民営化委員会委員長の岩田です。よろしくお願いたします。

本日の郵政民営化委員会の概要について、御説明を申し上げます。

資料は既にお手元にお配りしてあるとおりであります。

本日は、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命保険から認可申請がありました新規業務についてヒアリングを行いました。具体的には、まず、ゆうちょ銀行から同行のビジネス展開のコアとなる決済サービスの拡充、地域金融機関との連携、資産運用の高度化・多様化を一層推進していく観点から、足元の金融経済情勢も勘案した上で、同行としての優先順位を検討し、口座貸越による貸付業務、その他の銀行業に付随する業務等、資産運用関係業務を行いたいとの御説明がありました。こうした中で、平成24年の認可申請については、マイナス金利による超低金利など、金融情勢等が大きく変化していることを踏まえ、取り下げたとの御説明がありました。

次に、かんぽ生命保険から、今回の新規業務について、大きく二点ありました。一点目は、低金利環境の継続や平均寿命の延伸、医療環境の変化といった経営環境を踏まえ、終身保険や定期年金保険及びこれらに付加する入院特約等について、解約返戻金を抑えることにより保険料を低廉化するなどの見直しを行うとともに、入院特約等について手術保険金の支払対象等の見直しを行いたい。二点目は、現在、既に行っている他の生命保険会社の法人向け商品の受託販売の充実を図るため、第一生命保険の経営者向け介護保障定期保険の受託販売を行いたいとの御説明がありました。なお、詳細については、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命保険に確認していただければと思います。

委員からは、次のような御発言がございました。ある委員からは、ゆうちょ銀行の新規業務であります。御説明いただいた新しいゆうちょ銀行の方向性について、郵便局を活用しつつ行うことは良い方向だと思う。口座貸越サービスについて、収益と費用はどうなっているのかという御質問がありました。また、ほかの委員からは、口座貸越による貸付業務について、利用者への説明はどのように考えているのかという御質問。今回の口座貸越による貸付業務が追加されることによってATMにもう一つサービスが追加されるが、ATMを使いやす

くするためにどのようなことを考えているのかという御質問がありました。地方への資金の循環について御説明がありましたけれども、地方におけるインフラ投資について、どのように考えておられるかという御質問がありました。別の委員からは、税公金の取りまとめ業務について、地方自治体のニーズはどの程度あるのかという御質問がありました。口座貸越による貸付業務の開始に当たって、通帳だけではなくATMの利用時の明細書についても、借入れの状況等が分かりやすくなるようシステムの改修を検討していただきたいという御要望がございました。別の委員からは、口座貸越サービスについて、どのように需要を見込んでおられるのかという御質問がございました。

かんぽ生命保険の新規業務の認可申請につきましては、ある委員からは、定期年金保険について、加入年齢範囲や年金支払開始年齢が現行よりも高年齢に見直されているが、これは長寿化に対応しているということかという御質問がありました。別の委員からは、現在の特約を付加している既契約者の方が見直し後の特約を付けようとする場合の対応は考えておられるのか。保険料が安くなる一方で、解約返戻金が低くなることについて、顧客への説明を丁寧に行っていただきたいという御要望がございました。別の委員からは、受託する法人向け商品は、支払保険料が全額損金算入できるようだけれども、ほかの法人向け商品ではどうなっているのかという御質問がございました。

委員からは、主に今のような御質問がございました。

なお、次回委員会の開催につきましては、調整中であります。

私からの報告は以上であります。

○記者

一つ、今後のスケジュール感についてお伺いしたいのですが、今日は概要説明と議論をされたと思うのですが、これから、パブリックコメントがまとまってきたりして、その後に民営化委員会としての今回の新規業務に対する御意見を求められると思うのですが、パブコメの締切りが25日だったように記憶しているのですが、例えば4月中に出るのか、あるいは連休明けになるのか、もっと時間が掛かるのか。そういったスケジュール感についてまずは伺わせてください。

○岩田委員長

今後のスケジュールですけれども、本日、議論を最初に始めたばかりということでありまして、今後のスケジュールについては未定であります。御指摘がありましたように、パブリックコメントも4月25日が締切りということになっておりまして、そのパブリックコメントをよく検討するということがございまずし、また、関係省庁等からのヒアリング等を踏まえた上で、委員会において議論していくことになっておりますので、現時点でスケジュールを具体的には

申し上げられないということでもあります。

○記者

私も担当が浅くてよく分かっていないのですけれども、1年とかを掛けるような類いの話ではないのかなと思うのです。数カ月ぐらいかなと。

○岩田委員長

過去の例を見ますと、過去、新規業務の審議等をしたことがございます。非常に短期間で終了したこともございますけれども、長く掛かったこともございます。そういうことで、これからの検討の度合い、内容によって審議の期間はより長くなったりということがあろうかと思えます。

○記者

ありがとうございます。

○記者

先ほど各委員からの発言について説明があったのですが、基本的にはゆうちょ銀行の方もかんぽ生命保険の方も、明確に反対するような意見はなかったという認識でよろしいのでしょうか。

○岩田委員長

今日の皆さんの御発言、御意見で、ともかくどういふことを今度は始められるかについての御質問等が多かったと思えます。

○記者

ゆうちょ銀行の方の新規業務についての、収益と費用はという委員の質問に対して、ゆうちょ銀行はどのように答えていたのですか。

○岩田委員長

ゆうちょ銀行の回答としては、収益はもちろん利息の収入になります。費用の方は、新しい業務が始まりますので、それに伴うシステムの改修費。これは先ほどATMの御質問等もありましたけれども、そういう改修費がありますし、保証会社に支払う保証料もあるという御説明がありまして、サービスを開始してから5年後には黒字になるように進めていきたいという御回答がございました。

○記者

ありがとうございました。

○記者

ヒアリングが終わってから、民営化委員会としての意見書みたいなものをお作りになる御予定はあるのでしょうか。

○岩田委員長

過去、こういう新規業務についての御議論をしたことがございますが、最終的には意見の取りまとめを行っております。

○記者

あと一点だけ、全国郵便局長会とかがやっていた、いわゆるカードローンと今回の口座貸越が、ちょっとほかの方の質問と重複したかもしれないのですが、収益的にどのくらい差があるとか、そのような御質問はなかったでしょうか。

○岩田委員長

内容について幾らか、例えば今のゆうちょの場合も、総合口座にある場合には、その範囲内で貸付けをする。それはその貯蓄の金利にちょっと上乘せしたような金利でお貸しするというお話もございました。また、カードローンの金利等と比べて、今回の金利は大体妥当なものではないかというお話もございました。

○記者

ありがとうございます。

○記者

これからパブコメの結果等を見て委員会で議論していくというお話なのですが、提案内容に対する率直な委員長の御感想があればお伺いしたいのですが、どうでしょうか。

○岩田委員長

私の意見をとわれましても、これから委員会として検討をしっかりと、その意見を取りまとめるという役割になっておりまして、今の時点で私からの個人的見解は差し控えさせていただきたいと思えます。

○記者

今のお話なのですが、逆に良い、悪いというか、こんなところをもうちょっと議論していきたいとか、あるいはここは疑問を持っているとか、その疑問を解消していきたいとかいうようなお考えがないのかというのが一点。

あとは例の地域ファンドの関係で、今、LPをやっているわけですが、GPについての説明というか、今後、GPをやりたいと考えていると思うのですが、そういったお話はありませんでしたか。

○岩田委員長

本日は、新規業務についてのお話でありまして、特に地域の方について詳しく御議論があったわけではありませんけれども、ある委員から、インフラ投資についてどのように考えているかという御質問がありましたので、それに対するゆうちょ銀行のお答えとしては、地域金融機関や地方自治体とのコミュニケーションを取っていると。よく取るような体制を整えておりますという御説明がありました。同時に、地域金融機関のシンジケートローンに参加することも考えているというようなことを仰いました。また、地域の本当の資金ニーズは地域金融機関が持っており、地域金融機関と一緒にやっていきたい

という御説明もございました。

最初の方の御質問については、これからパブリックコメントの結果あるいは関係省庁等のヒアリングのようなものを踏まえまして、委員会で議論していくということですので、現時点でのコメントは控えさせていただきたいと思いません。

○記者

4年半前の新規業務で、環境が変わったので取り下げたという御説明があったのですが、取下げに関しては、今日、委員から御意見などは出なかったのでしょうか。

○岩田委員長

これはゆうちょ銀行から特に、過去の認可申請を取り下げたことについて御説明がありました。ゆうちょ銀行からは、今の経済、金融情勢がその当時と非常に大きく変わっているということを踏まえて、今回の新規業務の申請と、過去の申請の取下げを行ったという御説明がございました。ただ、この点について、さらに深く議論するようなことはございませんでした。

○記者

今日はちょっと予定の時間より長くなったかなと思うのですが、これは議論が紛糾したというよりも、いろいろな質問とかそういうものが多かったという理解でよろしいでしょうか。

○岩田委員長

少し長かったかもしれませんが、これは熱心に御議論いただいたということで特に紛糾したというようなことはございませんでした。